

市民と一緒に花植え

大府コミ環境部会は、緑花推進事業としてJR大府駅西と駅前の花壇などの花植を行なった。

一般市民や大府中1年生のボランティアなど約70人が参加した。シャベルなどで穴を掘っては苗を入れ、丁寧に土をかけていった。参加した中学生は「よい経験になり、社会勉強になりました。社会に出て、こうした経験をわすれずに頑張っていく」と語っていた。＝写真右＝

大府コミの活動



自転車盗難防止キャンペーン

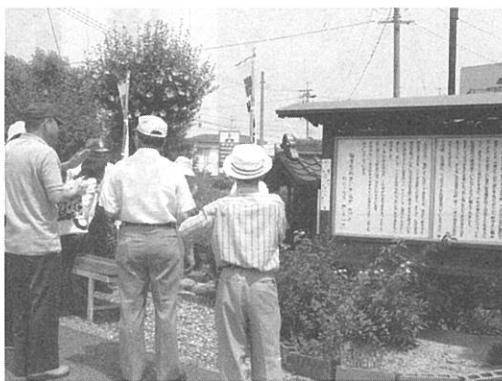
大府市役所生活安全課は、大府自治区、大府コミ、大府婦人会、警察などが参加して、JR大府駅駐輪場で「自転車盗難防止キャンペーン」を行なった。

大府コミ会員たちも、そろいの帽子やベストを着て、1台1台の自転車に鍵が掛かっているかを見て回った。通勤者たちに自転車のセーフティワイヤーロックなどを配り「ワイヤ錠などのカギを必ずかけましょう」と呼びかけた。＝写真左＝



大府を知ろう研修会

大府コミ文化福祉部会は、部会員研修として「大府を知ろう」を行った。これは会員同士の親睦を図り地域についての知識を深めるのを目的に開いた。会員15名が参加、大府公民館を出発し、おしも井戸（朝日町）＝写真右＝と専唱院（朝日町）、それに常福寺（半月町）を回ったあと大府市民活動センター、コラピア（森岡町）を見学、それぞれ説明を聞いた。



延命寺川の清掃

地球規模で考えて、地域単位で運動する「クリーン・アップ・ザ・ワールド・イン大府」が大府市内の各地の池や川周辺で開かれた。延命寺川では大府コミなど約30人が参加。落ちていた空き缶や紙くずなどを拾い集めた。約1時間の清掃活動。世界規模の運動。近年では130カ国、400万人が参加している。＝写真左＝



防 犯 活 動

大府自治区や大府コミは、防犯活動に力を入れており、成果をあげている、今年度は、大府市安心安全推進協議会から「大府犯罪のないまちづくりモデル地区」に指定され発会式が市役所で行なわれた＝写真右＝

市内では窃盗、空き巣、車上ねらいなどの犯罪が発生している。みんなで一致団結し、警察、行政と一体となって防止活動を進め、犯罪のない明るいまちづくりを進めて行くことを宣言した。地区内の防犯パトロール、年始の特別夜警、青色防犯灯の点火式などを行なう。



大府コミUNITYだより

編集発行

大府コミュニティ

推進協議会

事務局(総務・広報)

助けあう
家庭と地域を
創造しよう

マジック体験学習
参加者募集

日時 平成21年11月28日
時間 午後1時30分
場所 大府公民館ホール
対象者 小学4年から6年生
参加員 50名
(当日1時15分受付)
講師 大府マジッククラブ
深谷、小島、内田
主催 大府コミ家庭教育部会
参加者全員にマジック用材
料とお菓子をプレゼント



浴衣姿でにぎわう遊歩道

第28回 大府夏まつり

夏の風物詩「大府夏まつり」が、JR大府駅前の中心市街地で2日間にわたって行われた。今年で28回目。

まちの活性化につなげようと大府コミュニティ、大府商工会、中央通商店街振興組合、あいち知多農協、大府自治区、大府婦人会など15団体でつくる大府夏まつり実行委員会が主催。雨模様の中、浴衣を着た家族連れらでにぎわった。今年は2000人少ない5000人が訪れた。6チーム約500人が熱い踊りを披露した。大府中生徒の和太鼓演奏に合わせてパレードや盆踊りなどを繰り広げられ訪れた人達を魅了した。



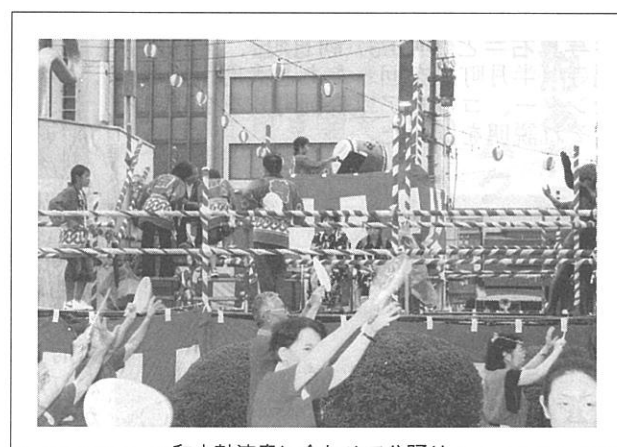
威勢よく踊るヨサコイソーラン



輪になって盆踊り



思い出に金魚すくいを楽しむ



和太鼓演奏に合わせて盆踊り

雨模様でもイベント楽しむ



七夕飾りコンクール



大府ばやし踊り

鉄道模型運転が自治区二階で行われた。主に新幹線や汽車に子供たちの注目を集めていた

桜井、林西氏参加



第28回大府公民館まつり



商工会女性部

和紙をちぎって作った花や紅葉の風景作品を熱心に鑑賞する岡村副市長

大府コミ健康部会
こどもギネス大会として、かかし、なわとびなどに子供たちが挑戦した



大府公民館まつりが10月3、4両日行なわれた。公民館を利用している各団体の学習発表や地域住民が参加してふれあいを高めようと毎年開かれている。今年は始めて鉄道模型の運転があったのをはじめ、ギネス大会、花の苗の無料配布や作品展示、バザーなどがあり、にぎわいを見せた。

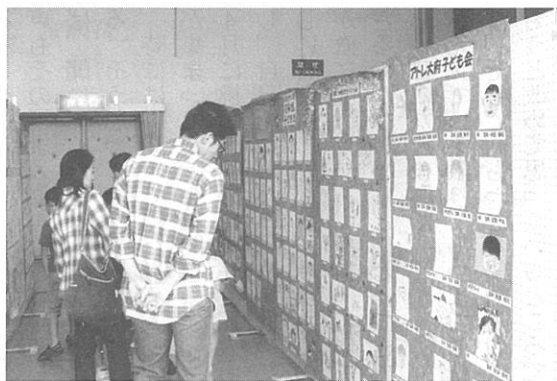
大府市健康づくり
推進員協議会

健康いろはカルタ②



花いっぱい運動として花の苗四百株を無料配布行列ができるほどの人気

大府コミ環境部会



子供会の作品展

桃山西やアトレ大府子供会などの作品を見る親たち



有機野菜などの販売が行なわれ、飛ぶように売れ、人気を集めていた

大府コミュニケーション

大府市環境課

健康いろはカルタの展示。足指力チェックなどが行われ健康についての質問もあった



あの人この人

朗読・録音
奉仕活動33年
中田紀子さん

1940年、徳島県生1集発ルを
まれ。2000年3月イ「ゴ員
ま日。私のエンの真、委
行「きんのかは写生
フ趣味は民
勤め

朗読が楽しくてたまらないという中田紀子さん。平成20年度大府コミュニティ家庭教育部会副会長を務め活躍した。今回、視覚障害者のために、録音した朗読は一、五三六時間にのぼり、社会に奉仕して来たことが評価され表彰を受けた。その喜びを語ってもらった。

(F・Y)
今年は8月に、私たち朗読グループ「しずく」が、愛知県からボランティア功労者表彰を受け喜んでいましたら、今回また、私が、鉄道弘済会から賞をいただき、長年労働奉仕に携わってきたことをうれしく思っているところで。当日は、マリオットアソシアホテルで表彰式があり、記念品や花束をいただいた後、来賓の方々の前で芥川龍之介作『蜘蛛の糸』を朗読し、幸せな1日を過ごさせていただきました。

思えば、昭和50年6月、市の広報に朗読ボランティア募集の記事を見つけ、応募したのが始まりでした。50名ほど

が集り、講習会や会議の末、次の年の2月に、目の不自由な人のための朗読ボランティアグループ「しずく」が発足しました。それ以来、月4本の『声の広報』『声の週刊誌』と名付けた音訳テープを、利用者に届けています。

メンバーは33年も経つとほとんど入れ替わり、今は19名がハートプラザの録音室で吹き込んでいます。車の音や、生活の雑音などが入り困っていました。録音室を寄付してくださる人がいて、静かな環境で録音できるようになりました。また、テープを1軒1軒配っていたのも、郵便局の許可が下り、利用者無料で郵送できるようになって、初めてのころの苦勞を思うと随分楽になりました。

普段はさっとしか読まない新聞も、自分の担当のころになると、隅から隅まで目を通し、皆さんに喜んでもらえる記事を探します。おしゃべりや笑い声もそのまま入れ「読む者が楽しければ、聞いてくださる人にもそれが伝わる」そう思って作っています。

時には、聞いてくださる人と読む者が集まって親睦会を開きます。今年は4月に桃山公園の桃陵荘で26人も参加し、自己紹介したり、歌を歌ったり楽しい時を過ごしました。みなさんの感想が直に聞け、テープを持っていくくださるのがひしひしと伝わってきてうれしい日になりました。

元気でいる限り、いつまでも続けよう、そして、もっと希望図書も吹き込もうと改めて思っているところです。

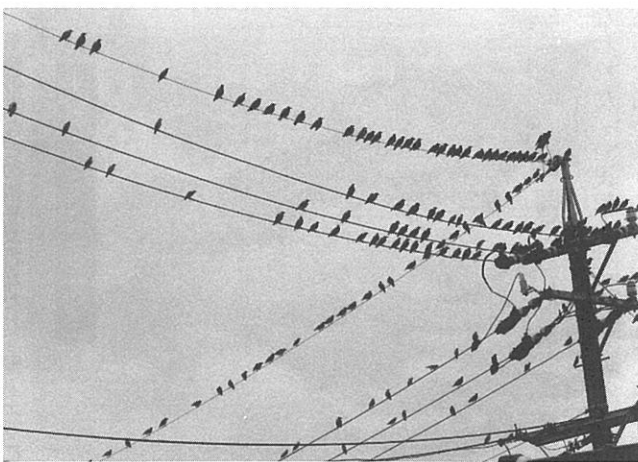
大府あれこれ

ムクドリの大群

ムクドリの大群が電線にとまって羽を休ませている姿が見られる。電線にずらりと並んだ見事な光景に通行人は上を見上げて見とれている。

毎年9月中旬ごろから10月中旬にかけて大府市朝日町三丁目地内で見られる。それも午後。山からおりてきて、暖かい地方へ移動して行く途中に寄り道をし、休憩をする中継地点になっているのではないかと。多いときには6、700羽ぐらいになる(NHKはっとイブニングで放映)

(F・Y)



大府市防犯情報 (9月下旬)

- 24日 横根町、長草町五ツ屋東で2台車上ねらい
- 25日 江端町4、横根町狐山と名高山で車上ねらい
- 26日 吉川町1、森岡町2で2台江端町で2台 カーナビ盗難 ガラス割り
- 27日 共和町半ノ田で車上ねらい ガラス割り

車上ねらい、カーナビ盗といった車両関係の被害が多発、車内に物を置かないことが防衛手段

あとがき



日本で46年ぶりの皆既日食(7月27日)の日、大府市内は雲がかかったが、時々、雲の間から、太陽が見えかくれしていた。午前10時50分ごろ、うっすらと太陽がかけている部分日食が数秒間見えた。その間、空は少し暗くなりセミの泣き声が一瞬止まり静かになったのには驚いた。初めて貴重な体験をした思いがした。次は26年後に見られる。

今世紀最長6分44秒黒い太陽を見ることが出来るはずの悪石(あくせき)島や奄美大島の観測場所も多く天文ファンが訪れたが、雨や雲のため黒い太陽を見ることは出来なかった。それを思うと、自分なりに太陽のかけたのが見えたのに感動をおぼえた。皆既日食は地球から見て太陽と月が一直線に並び月が太陽を完全に覆い隠す現象のこと。

(F・Y)